

平成 21 年度 地域保健総合推進事業

歯科・医科連携による歯周疾患アプローチに関する研究（第 2 報）

糖尿病患者およびがん患者の療養支援のための
歯科・医科連携に関する研究

報 告 書

平成 22 年 3 月

分担事業者
瀬戸 昌子
(滋賀県東近江保健所)

はじめに

生きる上で最も大切な営みの一つは「食べる」ことであり、それを支える大切な臓器は、歯を含めた口腔です。病気や生活を考える上で、医科と歯科両方の立場からアプローチすることはとても大切と思われます。しかし現状は、大学のカリキュラム上も臨床の場面でも医科と歯科が分かれすぎており、できるはずの情報交換、協力に至っていないのではないのでしょうか。

実際、生身の人間では、歯を含めた口腔の健康と身体の健康は深く関係し、全身疾患と口腔疾患の関連性を示すエビデンスも近年多数集積されています。例えば糖尿病と歯周疾患の関連、妊婦の歯周病と低体重児出産の関連、癌の治療や医療介護における、口腔ケアと感染症予防の関連などの報告は、今後、「歯科を考慮に入れた保健医療」「全身疾患を考慮に入れた歯科医療・保健」という領域を発展させる必要があることを示唆しています。

平成20年度に、「糖尿病と歯周病」「在宅医療介護」における歯科・医科連携のあり方について検討しましたが、平成21年度は、第2報として「がん患者の療養支援」に焦点を当て、歯科・医科連携について検討しました。「生涯で2人に1人はがんになる」といわれている時代、がん医療は極めて重要な国民的課題になっております。そして、がん治療においても、口内炎、口腔乾燥症、味覚異常、う蝕の多発、術後感染など口腔領域と関連性のある症状が数多く報告されており、がん治療における歯科的支援も、公衆衛生学的にも極めて重要なことと考えました。

現在、地域保健医療では、医療制度改革を踏まえて、在宅医療の推進、地域連携が重要なテーマとなっていますが、歯科との連携を組み込むことにより、様々な疾患の地域ケアがより充実したものになる可能性が高いと考えます。この報告書がきっかけとなり多くの地域で歯科との連携がスタートすることを心より願っております。

最後になりましたが、ご多忙の折、視察を受け入れ、貴重な資料を提供して下さいました皆様、アンケートにご協力下さいました地域がん診療連携拠点病院の皆様に厚く感謝いたします。

平成22年3月

平成21年度地域保健総合推進事業
「歯科・医科連携による歯周疾患アプローチに関する研究」
分担事業者 瀬戸 昌子（滋賀県東近江保健所）

目 次

はじめに

目 次

研究概要	1
がん患者への口腔ケアの有効性に関する研究	11
がん医療連携拠点病院対象「医科・歯科」連携に関する アンケート調査	17
地域保健総合推進事業発表会発表資料	36
病院NSTに関わって見えてきたこと (神奈川県三崎保健福祉事務所資料)	69
先進地視察報告	
静岡県立静岡がんセンターへの視察について	85
研修報告	
「がん治療における口腔内管理の意義 —医歯看連携が生んだ驚くべき効果の実例から—」	90
班会議メモ(第1, 2, 3回)	95
地域保健総合推進事業発表会要旨	105
奥 付	

研究概要

歯科・医科連携による歯周疾患アプローチに関する研究（第2報）
糖尿病患者およびがん患者の療養支援のための
歯科・医科連携に関する研究

分担事業者 瀬戸 昌子（滋賀県東近江保健所長）

事業協力者

角野 文彦（滋賀県健康福祉部健康推進課長）

嶋村 清志（滋賀県甲賀保健所長）

毛利 好孝（兵庫県健康局医務課長）

山田 全啓（奈良県郡山保健所長）

井下 英二（滋賀県健康福祉部健康づくり支援室長）

安藤 雄一（国立保健医療科学院室長）

北原 稔（神奈川県茅ヶ崎保健所課長）

河本 幸子（岡山市保健所課長補佐）

角町 正勝（日本歯科医師会理事）

要旨 本研究では、糖尿病患者への歯周治療の普及のための事業化の提案を行うとともに、がん患者の療養における歯科・医科連携の重要性に着目し、エビデンスの整理、連携状況の現状把握や連携体制の構築に向けた保健所の役割について検討した。

エビデンスの整理では、頭頸部がん再建術（口腔がんを含む）を受けた患者や食道がんの手術を受けた患者に対して行われた口腔ケアにおいて、主として感染等による術後合併症の減少が認められた報告や、複数（胃、大腸、前立腺）のがん手術を受けた症例に対して行われた口腔ケアでは、術後在院日数の短縮が認められたとする報告があった。

先進事例としては、院内歯科口腔外科が中心となって、病院と地域歯科医院との連携を含め前方/院内/後方連携の事例、院内に歯科口腔外科を設置していないにもかかわらず、地域歯科医院との連携が進んだ事例、県保健福祉事務所（保健所）が積極的に関わって病院内の口腔ケアシステムを作り上げた事例が報告された。

地域がん診療連携拠点病院へのアンケート調査では、運用されているパスの中で口腔領域の記載がある医療機関は低率であったが、院内外の歯科医療機関との連携については、8割以上の医療機関で連携がとられていた。がん以外の歯科・医科連携事例として多かったのが、「ビスフォスフォネート（ゾメタ）」が14事例、「摂食・嚥下」に関するものが13事例、「脳卒中患者」に関するものが12事例、「移植」に関するものが9事例、「糖尿病」に関するものが7事例であった。

このことから、院内外の歯科・医科連携には、病院の歯科口腔外科や保健所の役割が重要と考えられた。

A. 目的

医療側中心の医療から、地域住民中心とした医療へのパラダイムシフト、医療制度改革による在宅医療や地域連携の重視、全身疾患と口腔疾患との関連性のエビデンスの蓄積等により、地域保健医療における医科と歯科の連携が重要視されるようになった。本研究では、平成20年度に糖尿病と歯周病との関連性に着目し、そのエビデンスの整理、地域での医療や健診の場での連携の現状把握、連

携体制構築に向けた保健所の役割について提案した。今年度は、糖尿病と歯周病における歯科・医科連携推進のための事業を具体的に提案するとともに、がん患者の治療や緩和ケアにおける歯科・医科連携の重要性に着目し、その現状把握や、連携体制の構築に向けた保健所の役割について提案することを目的とした。

B. 方法

研究目的の達成のため、公衆衛生に携わる医師、歯科医師、歯科衛生士、疫学の専門家に加え、今年度は地域歯科医療との連携の重要性から、日本歯科医師会角町理事にも研究協力を依頼した。

1. 班会議での検討

1回目の班会議においては、前年度の研究結果を踏まえ、特定健診・特定保健指導の場や糖尿病医療の場における歯周疾患検診の具体的な普及方策について検討した。

さらに、様々な地域における保健、医療活動の中から、平成21年度研究では、がん患者の治療や緩和ケアにおける歯科・医科連携の重要性に着目し、連携体制構築への提案を研究目的に加えることが決定された。

2回目の班会議においては、がん診療と歯科領域の関連性に関する整理の方向性やがん治療における歯科・医科連携の現状把握と先進地視察先選定を目的としたアンケート調査内容について検討した。

さらに、歯科・医科連携強化に向けて、保健所と歯科医師会とが協力していくことの重要性が確認された。

3回目の班会議では、中間発表での意見、先進地視察内容、アンケート調査結果及び、日本歯科医師会の取り組み内容を踏まえた上で、連携強化に向けた保健所の役割について協議した。

保健所の役割に関する協議は、歯科・医科幅広い観点からの意見を集約するために、滋賀県保健所長会や他の研究班の協力も依頼した。

2. 先進地視察および研修会への参加

先進地視察先として、静岡県立静岡がんセンターを選出した。視察は、事業協力者2名で行った。視察では、がんセンター全体の組織、運営について説明を受けた後、歯科口腔外科の大田洋二郎歯科医師より歯科・医科の連携体制について説明を受けた。



また、平成21年12月12日(土)に岡山大学医学部附属病院岡山大学病院 歯周科/周術期管理センター歯科部門の歯科医師、歯科衛生士を講師とした、「がん治療における口腔内管理の意義—医歯看連携が生んだ驚くべき効果の実例から—」をテーマとした研修会に参加した。

3. アンケート調査

がん治療における「地域連携クリティカルパス」の運用状況や歯科との連携状況について調べるために、全国の地域がん診療連携拠点病院 375 医療機関を対象に郵送によるアンケート調査を平成21年11月23日～12月末に行った。

C. 結果

1. 糖尿病患者における歯科・医科連携について

健診や保健指導現場での連携では、平成20年度に提案した連携図が、図1のように滋賀県の健診業者に採用されるとともに、地域での歯周疾患検診の普及方策として同様の連携図が、滋賀県東近江保健所管内1町、滋賀県甲賀保健所管内1市において採用された。

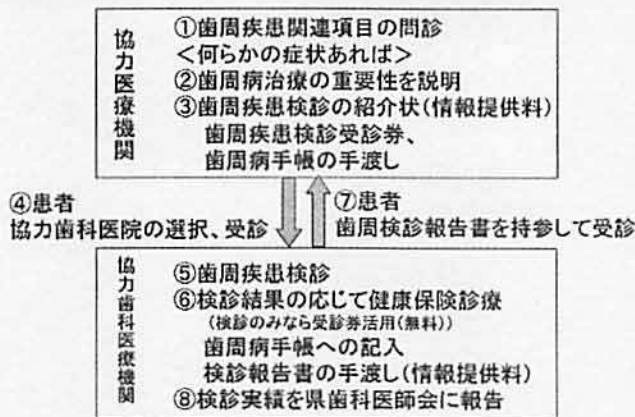
医療現場でのアプローチでは、滋賀県において平成22年度に図2のモデル事業を提案している。

図 1



図 2

糖尿病患者における歯科・医科連携推進モデル事業



2. がん患者治療における歯科・医科連携についてのエビデンスの整理

(1)がん治療に伴う口腔合併症についての整理

がん化学療法：口腔粘膜炎、味覚異常、歯肉出血、口腔感染、ヘルペス性口内炎、カンジダ性口内炎、知覚過敏症様の症状、口腔乾燥症

がん放射線療法：口腔粘膜炎、味覚異常、カンジダ性口内炎、放射線う蝕、軟組織壊死、瘢痕形成・開口障害、唾液腺機能障害・口腔乾燥症、放射線顎骨壊死

がん手術：創部感染・ろう口形成、嚥下障害、顎顔面欠損

終末期：口腔乾燥、カンジダ性口内炎、口腔粘膜炎、味覚異常、口臭、舌苔、義歯不適合、

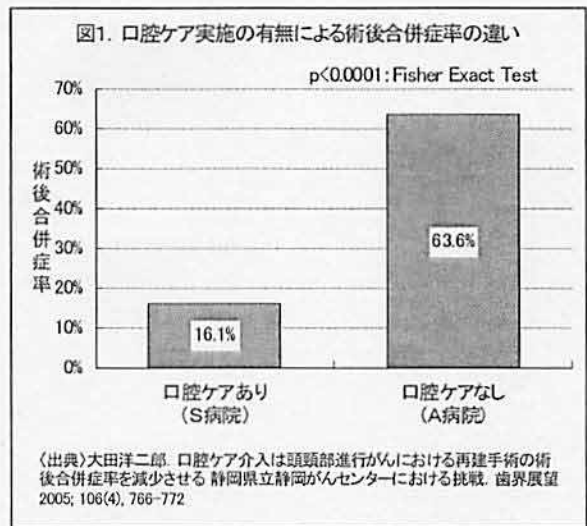
出血、う蝕

その他：ビスフォスフォネート剤による顎骨壊死

(2)がん患者療養における歯科・医科連携の重要性に関するエビデンスの整理

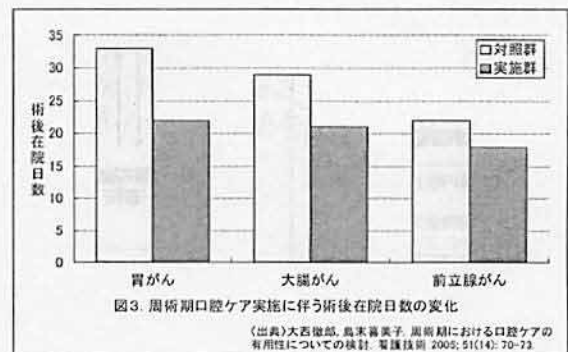
がん患者への口腔ケアの有効性を検討した代表的な国内文献を概観したところ、頭頸部がん再建術（口腔がんを含む）を受けた患者や食道がんの手術を受けた患者に対して行われた口腔ケアにおいて主として感染等による術後合併症の減少が認められた報告があった。（図3）

図 3



また、複数（胃、大腸、前立腺）のがん手術を受けた症例に対して行われた口腔ケアでは、術後在院日数の短縮が認められたとする報告もあった。（図4）

図 4



このようにがん患者に口腔ケアをシステムティックに施行することが単に口腔の局所的管理だけでなく全身管理の面から重要性を示す報告が近年増加しつつある。また、口腔ケアによる管理が一般の歯科診療所と病院との連携（病診連携）により達成できたことを示す報告もあった（図5）。

図5

宮城県立がんセンターでの取り組み

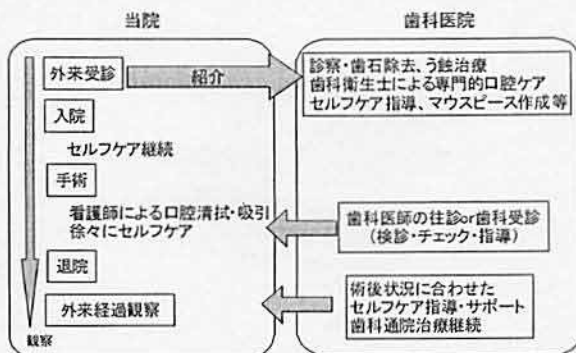


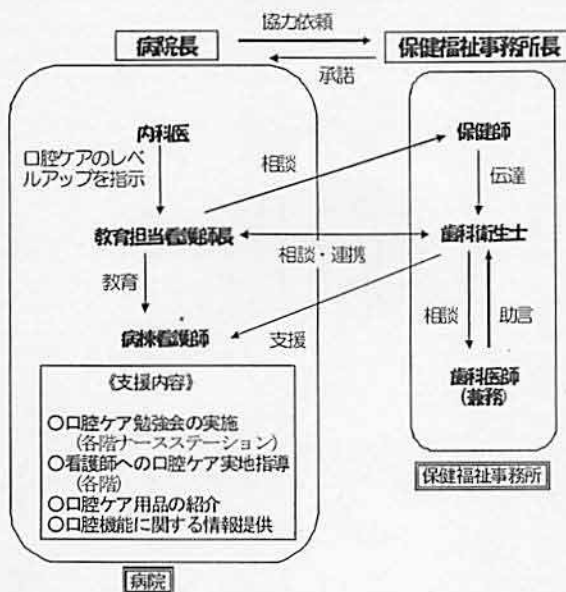
図2. 口腔ケア介入の手順

（出典）山崎宗治、松浦一登、加藤健吾、浅田行紀、西原隆。口腔ケアと再建手術前後合併症の検討。耳鼻咽喉科 2009; 19(2): 105-110。

さらに、神奈川県では、がん患者に限らず、入院患者への適切な口腔ケア提供体制づくりに保健福祉事務所の歯科専門職種が積極的に関わった事例もあり、行政が病院での適切な口腔ケア提供システムづくりの一翼を担っていく可能性も認められた（図6）。

図6

神奈川県三崎保健福祉事務所の取り組み



(3)先進地視察

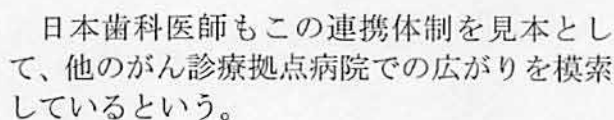
先進地視察は静岡県立静岡がんセンターにて行った。静岡がんセンターでは、院内においては、医師、歯科口腔外科歯科医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師等の多職種がチームとなって口腔ケアを行っていた。さらに、「退院後も食べられる口を維持するために」という考えから、平成18年度より、センターが地域歯科医師会と連携し、「歯科医療連携医マップ」を作成している（図7）。

図7



現在では、がん治療前に地域歯科医療機関で必要な歯科的処置を行う前方連携、入院中の院内連携、退院後に再び地域歯科医療機関につなぐ後方連携がシステム化している（図8）。

静岡県立がんセンターにおける歯科・医科の前方・院内・後方連携の流れ図



また、薬物療法や放射線治療における口腔ケア（図 9、10）や口内炎（図 11）の冊子も作成している。

がん治療における口腔トラブルとケア

for MEDICAL PROFESSIONS	
1984	1
1985	2
1986	3
1987	4
1988	5
1989	6
1990	7
1991	8
1992	9
1993	10
1994	11
1995	12

がん治療における口腔トラブルとケア

[illegible]



がん治療による
口腔粘膜炎
口のトラブルに悩める

※脱水・低栄養・食生活の乱れなど
によりお口のトラブルが起きやすくなります。

がん治療による
口腔粘膜炎
口のトラブルに悩める

※脱水・低栄養・食生活の乱れなど
によりお口のトラブルが起きやすくなります。



がん研究
会



日本口腔がん
学会



がん治療による
口腔粘膜炎
口のトラブルに悩める

静岡がんセンターには、研究棟があり、その中に、サンスター株式会社が研究室を構え、がん患者の口腔ケアに資するスプレー型保湿剤、洗口液、歯磨き剤、歯ブラシ、スポンジブラシなどの開発を行っていた（図12）。

図 12



(3) 研修会への参加

平成21年12月12日(土)の「がん治療における口腔内管理の意義—医歯看連携が生んだ驚くべき効果の実例から—」をテーマとした研修会では、岡山大学病院歯周科/周術期管理センター歯科部門(併任)曾我賢彦歯科医師より、周術期医療における歯科介入の実例や白血病治療における歯科介入の実例を交え、麻酔科医、看護師、薬剤師、理学療法士、歯科医・歯科衛生士・歯科技工士の役割について、また杉浦裕子歯科衛生士より、造血幹細胞移植における口腔粘膜障害における口腔衛生管理の具体的な方法について講演があった。

(4) がん診療拠点病院に対するアンケート調査結果について

① アンケート概要

地域がん診療連携拠点病院に対するアンケート調査は、375 医療機関中 227 医療機関から回答があった(回収率 60.5%)。

② がんの地域連携クリティカルパスの運用について

地域医療連携クリティカルパスの運用状況

では、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がんについては 20%前後であったが、子宮がんの運用割合は低かった(表 1)。

(表 1)

	運用	策定中	策定予定	予定なし	無回答
胃がん	23.8	37.0	30.4	4.0	4.8
肺がん	16.3	33.5	40.1	4.0	6.2
大腸がん	21.6	34.8	35.2	3.5	4.8
乳がん	20.7	30.0	38.3	4.4	6.6
子宮がん	6.6	19.4	38.8	23.3	11.9

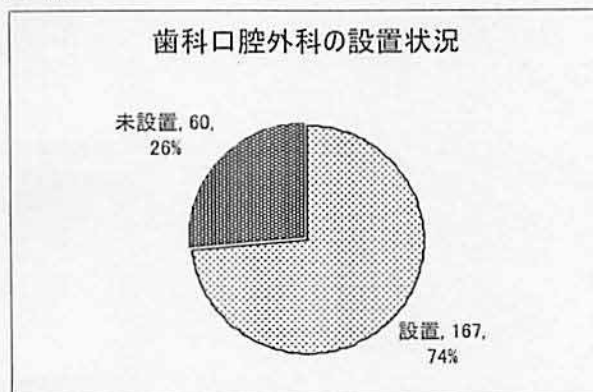
③ がん地域連携クリティカルパスでの口腔領域の記載状況

運用されているパスの中で、口腔領域の記載があると答えた医療機関が、胃がん 6 (11%)、肺がん 3 (8%)、大腸がん 6 (12%)、乳がん 3 (6%) と低率であった。因みに、滋賀県内において平成 22 年 4 月より運用が予定されている胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、肝がんのパスのチェックリストのうち口腔領域が記載されているのは現在のところ、肺がん(口内炎の有無)のみであった。

④ 院内における歯科(歯科口腔外科)の設置について

院内での歯科口腔外科は、167 医療機関(73.6%)に設置されていた(図 13)。

図 13

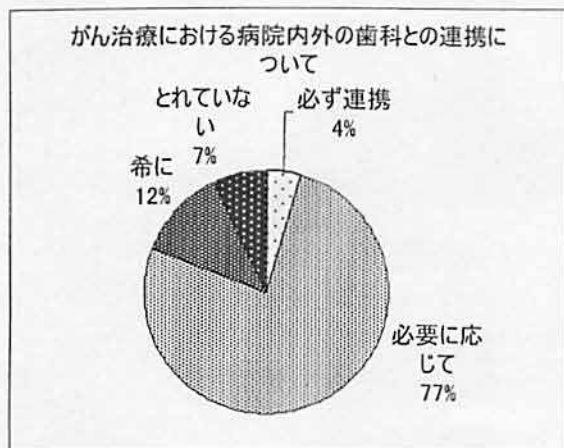


⑤ 院内外の歯科医療機関との連携状況について

院内外の歯科医療機関との連携については、必ず連携をとっている 10 (4.4%) と、

必要に応じてとっている 172 (75.8%) をあわせて 8 割以上の医療機関が歯科との連携が取れていることがわかる反面、2 割の医療機関で連携がとれていない課題もみてとれた (図 14)。

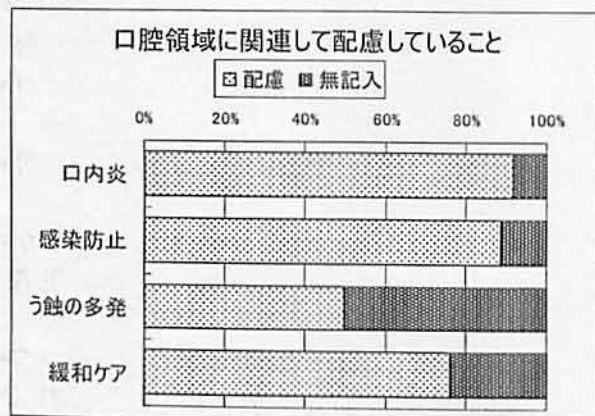
図 14



⑥がん治療において、口腔領域に関連して、配慮されていることについて

「がん治療において、口腔領域に関連して、配慮されていること」については、「抗がん剤療法中の口内炎」「感染防止のための口腔ケア (術前・術後)」は、9 割程度であったが、「緩和ケア中の QOL 維持のための口腔ケア」は、8 割弱、「頭頸部への放射線照射後のう蝕の多発」は 5 割程度と、関心の低さが伺えた (図 15)。

図 15

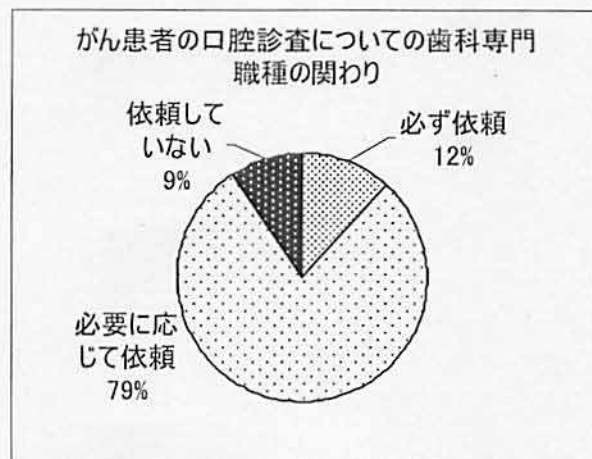


⑦がん患者の口腔診査についての歯科専門職の関わりについて

がん患者の口腔診査についての歯科専門職の関わりについては、「必ず歯科専門職種

に依頼している」のは、12%と低率であったが、「必要に応じて歯科専門職種に依頼している」を合わせると、90%以上が歯科専門職種の関わりが認められた (図 16)。

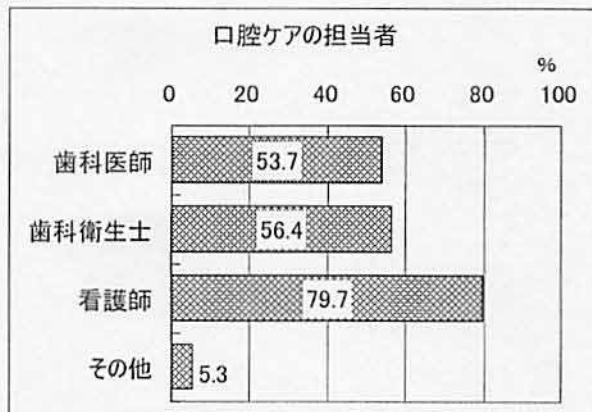
図 16



⑧がん患者の口腔ケアの担当者について

がん患者の口腔ケアの担当者については、看護師が 8 割程度関わっていたが、歯科医師、歯科衛生士も 5 割以上関わっていた。なお、その他が、5%程度であったが、「本人」「家族」「ST」「NST」などであった (図 17)。

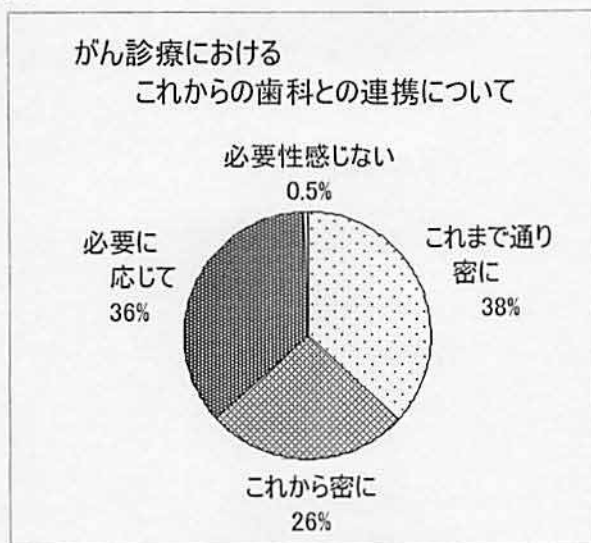
図 17



⑨がん診療におけるこれからの歯科との連携について

がん診療におけるこれからの歯科との連携については、「これまで通り密に連携」が 38%、「これから密に連携とりたい」が 26%、「必要に応じて連携をとりたい」が、36%とほぼ三等分されたが、1 病院のみ、「連携の必

要性を感じない」と回答していた（図 18）。
図 18



⑩がん以外の歯科・医科連携事例について
（自由記載）

がん以外の歯科・医科連携事例について自由記載してもらったものを以下に記載する。

記載された主な連携内容では、「ビスフォスフォネート（ゾメタ）」が 14 事例、「摂食・嚥下」に関するものが 13 事例、「脳卒中患者」に関するものが 12 事例、「移植」に関するものが 9 事例、「糖尿病」に関するものが 7 事例であった。

- がん患者の口腔ケアは治療期でも終末期にも非常に大事だと思います。他院との連携がとればさらに充実していきたいです。
- 主に放射線、化学療法治療中の患者様、また、ターミナルケア患者を対象に行っている。また、脳外科、救急患者にてベッド上の患者の口腔ケアを行っている
- ビスフォスフォネート投与予定患者および腎移植予定患者の口腔内スクリーニングと口腔ケア
- 糖尿病患者（教育入院）パスに入っている。入院患者の一般的口腔ケアに参加。手術（心内膜炎予防）のための口腔ケア
- 摂食嚥下障害患者に対するチームアプローチ（リハビリテーション科）、血液疾患の患者（移植、化学療法等）への介入

（血液内科、小児科）、挿管患者に対する介入（VAP 予防等）（ICU 等）、院内の口腔ケアの整備（NST）

- 必要に応じて近隣の歯科医院へ往診等の依頼を行っています、また、患者の症状によっては北大病院歯科への依頼を行っています。
- 訪問診療を前向きにしていただける歯科がありますので適時病院又は在宅への訪問診療やケアの指導をお願いしています。
- がん診療だけでなく看護の基本として歯科と連携し口腔ケアについて研修企画実施している。
- 胸部外科術前の患者についてう歯チェック・治療・及び口腔ケアを実施している。
- 心疾患、ICU、CCU 等においては院内の連携が必ずとれる用に委員会やリンクナース等が主体となり取り組まれています。院内リンクナース認定制度教育を通して啓発されている。脳高次機能障害においても必ず口腔ケア外来等でフォローしている様です。
- NST グループの一員として口腔内マッサージや必要事項の指導を積極的に行っています。
- 食道がん術前の口腔ケア。
- 寝たきりの患者様や自力で口腔ケアがなかなかできない人（患者様）の為に口腔ケアを行っている。
- NST チームを中心に地域の歯科医師会の協力を得て合同で病棟回診を行い、口腔ケア歯科治療嚥下訓練等を行っています。
- 嚥下困難な患者に対してケアしている。
- 脳血管疾患で寝たきり在宅患者への口腔ケア、施設利用者における口腔ケア。
- 横断的診療班として口腔ケアサポートがあり、病院内で主に人工呼吸器装着患者の積極的な口腔ケアを行っている。
- 院内の NST 委員会で行っている院内ラウンドの際に地域の歯科医院の先生に月 2 回参加していただき口腔指導を行っている。
- 顔面外傷、下顎骨折、顎関節症など。

- 嚥下機能低下しているかんじゃについて嚥下リハビリを歯科専門病院に依頼したことがあります。
- 心疾患患者の心臓血管外科の術前口腔診査治療依頼口腔ケアの歯科への依頼。腎移植患者の術前、脳神経外科、神経内科入院中の患者、内科糖尿病患者、膠原病患者、腎不全患者への口腔診査、治療依頼。
- 必要に応じてすべてに配慮している、地域対象研修会の開催—当院医師が歯科医師対象の研修会で講演、当院歯科医師が地域の医師会で講演、摂食嚥下セミナーを当院口腔外科が地域歯科医院および内全職員を対象に年2回開催、日常的に医科・歯科間で診療依頼を行っている一院内での連携、当院登録医療機関との連携（医科 508 医療機関、歯科 241 医療機関）
- 骨転移時のゾメタ（ビスフォスフォネート）使用に際し、歯科 Dr と連携。
- ゾメタについて別途連携が必要です。
- 移植内科外科においても口腔ケアは重要です。口腔ケアによって重篤な口内炎が有意に下げることが可能で、患者さんの苦痛を除くだけでなく、入院期間の短縮や医療費の抑制に有効です。
- 透析患者の歯科治療・心臓病、血管疾患の歯科治療・脳、血管疾患（脳梗塞等）の口腔ケア。
- 移植を受ける患者は口腔外科で治療を受ける（腎、骨髄移植）。
- 脳卒中地域連携パスでは口腔ケア、嚥下評価について歯科との連携を進めている
- ビスフォスフォネート使用前の口腔領域チェック。
- 血液科、化学療法前・心臓外科手術前・耳鼻咽喉科：近接領域なので症例を紹介している
- 形成外科：唇顎口蓋裂の協同診療、口腔がん手術での再建（マイクロサージェリー）の依頼・緩和ケア入院患者の口腔ケア・NSTチームでの連携・ICUでの口腔ケア・抗凝固剤、抗血栓薬投与患者

の口腔外科・糖尿病と歯周病、口腔疾患との相互関係。

- 遠い将来歯科をがんパスに入れたい。誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんにVF検査を実施し、経口摂取の評価をしている。（食事の内容、嚥下訓練）
- 歯科分野の病診連携（地域の歯科クリニックより紹介—入院・手術—退院後は元の歯科クリニックで診療継続）。
- 歯科口腔外科を現在開設準備中、本院でもがん治療において口腔ケアの必要性が認識されています。大学より異動し現在開設の準備中です。
- 脳血管障害患者の口腔外科。
- 白血病移植患者であれば必ず歯科受診、ゾメタ投与中でも歯科受診は必須としています。
- 口腔外科医がNSTの一員でもあり、摂食嚥下、がん治療に伴う口腔領域の問題に予防から関わりを持っている
- 耳鼻科栄養治療部歯科医衛生士がチームを組み、摂食嚥下チームを設立し活動を開始した。外科、内科、栄養治療部、看護部、検査部、薬剤部、歯科がチームを組みNSTとして活動している。
- ビスフォスフォネート剤使用時の口腔内診査、弁置換術前の口腔内診査及び治療依頼
- 歯学部付属病院口腔外科術前健診は医学部病院総合外来にて一括して行われている。
- 当院は救命救急センターを有しており、外傷における歯科との連携は十分にとれている。また入院中の患者にける口腔ケアについても歯科との連携のもとで取り組んでいる。

D. 考察

糖尿病患者に対する歯周治療普及については、滋賀県内において確実な広がりを見せており、今後の事業展開による更なるエビデンスの積み重ねが期待でき、そのエビデンスが全国的な事業展開への礎になると考えている。

がん患者における歯科・医科連携については、歯科領域についてはがんパスへの記載までには至っていないのが現状であるが、がん診療担当医師の間においては、歯科・医科連携の重要性は十分に認識されており、今後は、院内だけでなく地域歯科医療機関を含めた静岡がんセンターのような「前方一院内一後方連携」を強化する必要があると考える。先進地事例をみても院内歯科口腔外科が院内外の医科・連携の拠点となることが期待される。

歯科・医科連携強化に向けた保健所の役割であるが、2年間の研究事業でテーマとした「糖尿病」「がん」の2疾病についてそれぞれ、保健所長との検討会内容も含めて考察する。

①「糖尿病」については、現在、特定健診、特定保健指導のシステムの中で、地域、職域保健活動での保健所支援の一環として行うのが大切であろう。また、医療現場においては、糖尿病患者が、地域、診療所、病院を巡る循環型クリティカルパスが想定されており、地域における糖尿病担当医と歯科医師との連携を保健所が如何に強化できるかが重要となるであろう。

②「がん」については、地域がん診療連携拠点病院を拠点とした集学的および標準的治療提供体制が求められており、歯科・医科連携の推進における保健所の役割は、病院と地域歯科医院を結ぶというより高度な手法が必要であろう。

E. 発表

1. 学会発表

平成20年度の研究成果は、第68回日本公衆衛生学会総会（第68回日本公衆衛生学会総会抄録集、2009,575）、第58回日本口腔衛生学会総会（第59巻,4号,2009,412）にて発表した。

がん患者への口腔ケアの有効性について

安藤 雄一（国立保健医療科学院口腔保健部・口腔保健情報室長）

井下 英二（滋賀県健康福祉部健康推進課・健康づくり支援室長）

概 要

がん患者への口腔ケアの有効性を検討した代表的な国内文献を概観したところ、頭頸部がん再建術（口腔がんを含む）を受けた患者や食道がんの手術を受けた患者に対して行われた口腔ケアにおいて主として感染等による術後合併症の減少が認められた報告があった。また、複数（胃、大腸、前立腺）のがん手術を受けた症例に対して行われた口腔ケアでは、術後在院日数の短縮が認められたとする報告もあった。このようにがん患者に口腔ケアをシステムティックに施行することが単に口腔の局所的管理だけでなく全身管理の面から重要性を示す報告が近年増加しつつある。また、口腔ケアによる管理が一般の歯科診療所と病院との連携（病診連携）により達成できたことを示す報告もあり、行政がシステムづくりの一翼を担っていく必要性も示唆される。

●はじめに

近年わが国では、がん患者への口腔ケアの重要性に対する認識が広まり、口腔ケアを組織的に実施する病院が増えつつあり、開業医との連携もモデルケースが生まれてきた。

しかし、がん患者への口腔ケアは多様であり、単一に論じられるものではなく、がんの種類や治療法、口腔ケアの実施者・実施する場・内容によって異なる。評価指標も様々である。

本稿では、がん患者への口腔ケアの有効性を検討した代表的な国内文献を紹介し、現状におけるエビデンスについて考察する。

●代表的な文献の紹介

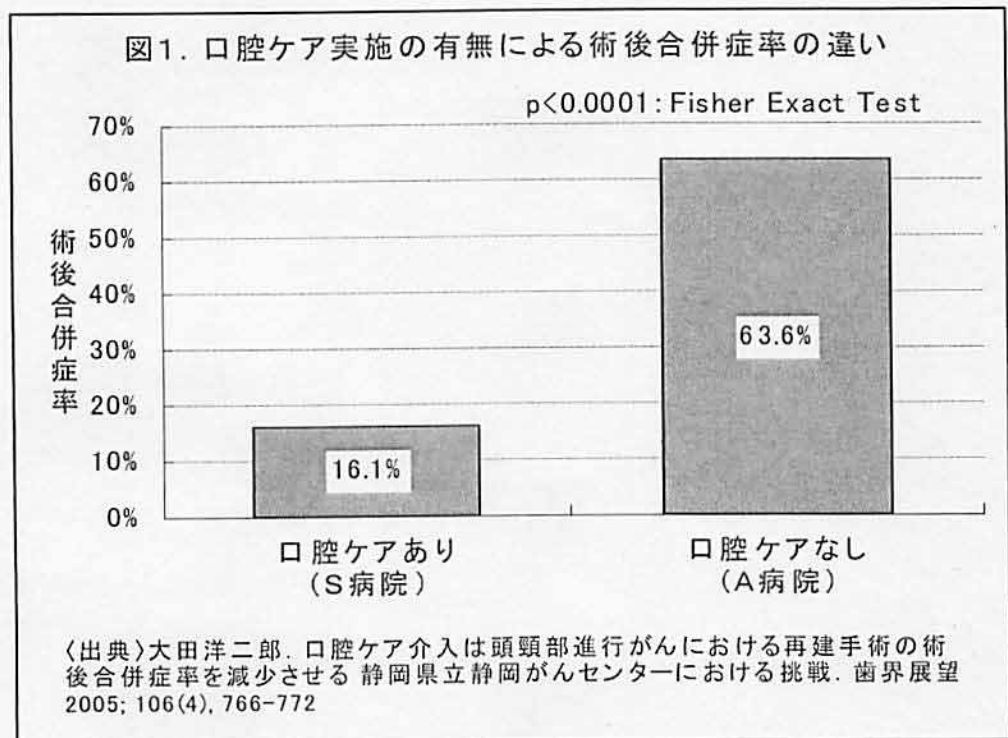
前述したように、がん患者への口腔ケアは様々なので、本稿では、がんの種類別に代表的な国内文献を紹介する。

▽頭頸部がん再建術、口腔がん

口腔がんおよび頭頸部がん再建術を受けた患者に対する報告としては、大田（2005）と山崎ら（2009）らがある。前者では口腔ケアが病院で実施されているが、後者は開業医で行われた口腔ケアの有効性について評価したものである。

大田（2005）1）は、一人の形成外科医が勤務した2つの癌専門病院（A病院と

S病院)で頭頸部再建手術を行った患者(A病院 35 症例:1998 年 4 月~2002 年 2 月、S病院 56 症例:2002 年 9 月~2003 年 12 月)の術後合併症率と経口開始日を比較した。口腔ケアはS病院で実施されており、手術 3 日前~前日に患者が院内の歯科口腔外科を受診し、歯石除去を受け、口腔清掃のセルフケアについて説明を受けた。手術後 1~2 日は ICU 病棟にて看護師よりサクションチューブによる唾液除去と生食水を含ませたスポンジブラシによる口腔清拭を受けた。病棟帰室後は口腔内に皮弁が露出している場合は手術後と同様のケアを行うが、露出のない場合は術後 2 日目より歯磨き、含嗽を励行させる。A病院では口腔ケアが行われておらず、手術中における創部消毒(S病院も同様)と手術の 7~10 日後に開始されるセルフケアのみである。常勤の歯科医師・歯科衛生士もいない。術後合併症率と経口開始日を比較したところ、術後合併症率はA病院 63.6%、S病院 16.1%と口腔ケアを実施しているS病院が圧倒的に少なかった(図 1. $p<0.001$ 、Fisher 直接確率法)。一方、経口開始日数については、A病院が平均 40.2 日、中央値 16 日、S病院が平均 10.6 日、中央値 9 日と術後合併症率と同様S病院が良好な結果を示した($p<0.001$ 、Wilcoxon 順位和検定)。



山崎ら (2009) 2) の報告は、宮城県立がんセンターが 2005 年 3 月より一般歯科診療所との病診連携として行ってきた口腔ケアの有効性を開始前後で比較した研究である。

対象は同センターにて 2004 年 6 月~2008 年 9 月に当院で同一術者により遊離再建手術を行った 95 例 (性別: 男 76・女 19、原発部位別: 口腔 33・中咽頭 25・下咽頭または頸部食道 23・その他 14) である。このうち、術前から口腔ケアを行った群 (口腔ケア群) は 47 例、口腔ケアを行わなかった群 (非口腔ケア群) は

48例であった。この群分けは恣意的にはなく、結果的に口腔ケアを実施できなかった群が非口腔ケア群となった。口腔ケアの方法(図2)については、同センターには歯科がないため、口腔ケアの最初の処置(診査、PMTC、セルフケア指導、必要に応じて応急的な治療)は原則的に院外の歯科医院で行った。術直後は看護師によるスポンジブラシによる口腔清拭1日数回行った。術後、歯科医は必要に応じて往診し看護師によるケアの状況の確認・修正を行った。退院前と退院後には必要性・状況に応じて患者に歯科医院を受診させ口腔清掃状態チェックとプロフェッショナルケアとセルフケアの指導を行った。術後合併症発生率は、非口腔ケア群が65.0%であるのに対し、口腔ケア群では40.4%と有意に低下が認められた(表1. $p=0.018$)。この内訳をみると、創部感染が生じた割合には口腔ケア群と非口腔ケア群で10倍以上の差があったが、他の内容では著明な差は認められなかったため(表1)、術後合併症発生率の違いは口腔ケア実施の有無と考えられた。

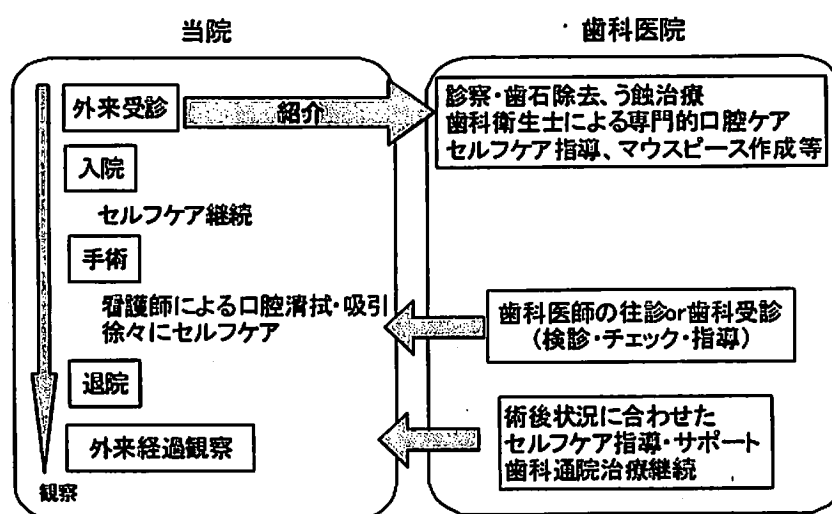


図2. 口腔ケア介入の手順

〈出典〉山崎宗治, 松浦一登, 加藤健吾, 浅田行紀, 西條茂. 口腔ケアと再建手術術後合併症の検討. 頭頸部外科 2009; 19(2): 105-110.

表1 口腔ケア介入と術後合併症

〈出典〉山崎宗治, 松浦一登, 加藤健吾, 浅田行紀, 西條茂. 口腔ケアと再建手術術後合併症の検討. 頭頸部外科 2009; 19(2): 105-110.

	口腔ケアあり		口腔ケア無		p値
	症例数	47症例中の割合	症例数	48症例中の割合	
(全症例数)	47		48		
縫合不全	5	10.6%	6	12.5%	-
創部感染	1	2.1%	11	22.9%	0.002
皮弁部分壊死	1	2.1%	1	2.1%	-
皮弁全壊死	3	6.4%	1	2.1%	-
誤嚥性肺炎	2	4.3%	2	4.2%	-
嚥下障害	3	6.4%	1	2.1%	-
術後血腫	2	4.3%	1	2.1%	-
その他	2	4.3%	8	16.7%	0.048
	19	40.4%	31	64.6%	0.018

志水ら (2008) 7) は、獨協大学医学部口腔外科で 2005 年 4 月に導入した口腔癌患者に対する術前口腔ケアの効果を検証するため、導入後 2 年間の口腔癌手術患者 56 例と導入前 2 年間の患者 43 例について術後感染症の発生頻度や入院期間などを比較した。その結果、術後感染症の頻度に有意な群間差はなかったが、頸部郭清術施行例と 70 歳以上例における術後 CRP 値が口腔ケア導入後群で有意に低く、同群では術後抗生物質の使用期間と入院期間が有意に短かった。

▽食道がん

胸部食道癌侵襲範囲が大きく術後の感染性合併症の頻度が高いため、口腔ケアの必要性が指摘されている。ここでは、館村ら (2000) 3) によるチームアプローチによる口腔ケア、上嶋ら (2009) 4) による専門的口腔ケアの効果などについて報告する。

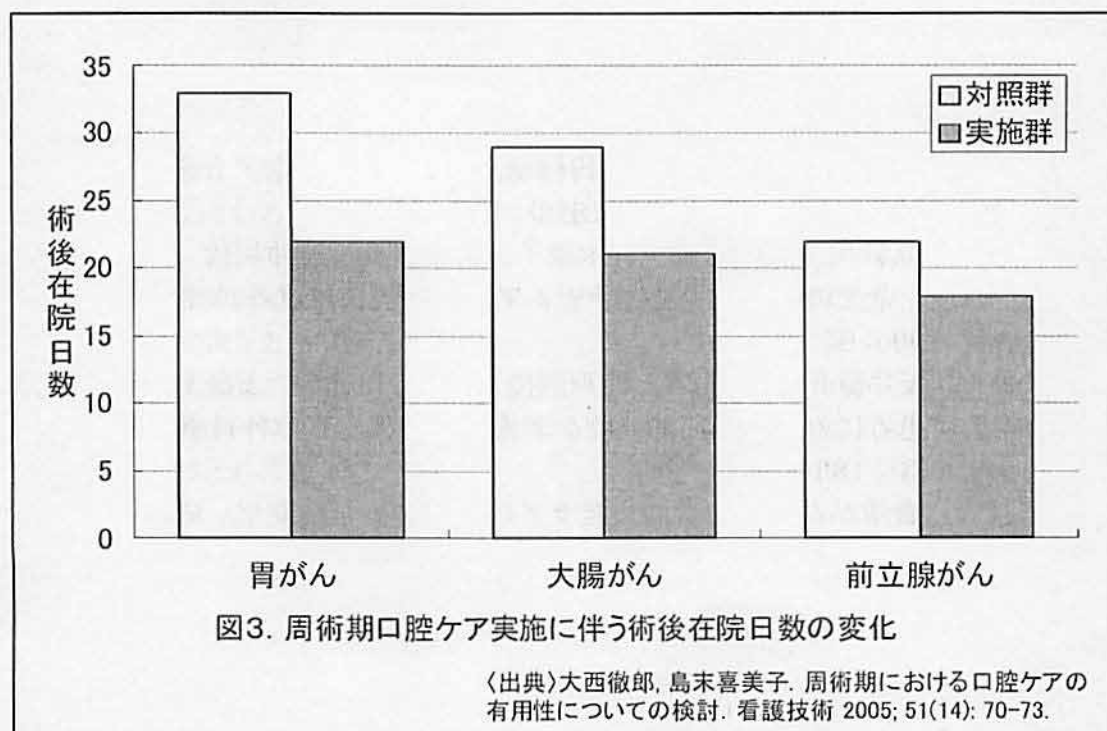
館村ら (2000) は、大阪大学医学部附属病院 (第二外科) が行った食道癌術後患者の摂食嚥下障害を訴えた患者の問題分析結果を基にして、同大学歯学部附属病院 (口腔機能治療部) と医学部附属病院 (第二外科、看護部、栄養管理室) によるチームアプローチによる食道癌術後患者に対する口腔ケアを実施した。まず第 1 段階として歯科医師の役割を傾向摂取開始後に摂食嚥下が疑われる症例に限定して口腔ケアを行ったところ、チームアプローチ実施前に比べて誤嚥性肺炎の減少と退院時経口摂取量の増加が認められた。この結果を踏まえて、歯科医師の役割を術前～退院後まで拡大して、それ以前の状況と比較したところ、吻合部縫合不全の頻度低下、手術～補助栄養終了および食事開始～補助栄養終了の日数の短縮、食事開始後および術後の在院日数の短縮が認められた。

上嶋ら (2009) は、愛知県がんセンターにて 2003～2006 年に胸部食道癌に対して切除・再建を施行した症例を対象に口腔ケア未実施群 24 例 (2003 年 1～12 月) と実施群 27 例 (2004 年 10 月～2006 年 1 月) について、術翌日抜管前の気管内細菌数と種類、術後 1 週間以内の肺炎や発熱の有無、全身性炎症反応症候群の期間などについて比較を行った。同センターでは 2004 年より食道癌患者に対して術前より専門的口腔ケアを実施しており、口腔ケア実施群では手術 4 日前と 1 日前に病院内の歯科外来を受診し応急的な歯科治療と歯科衛生士による PMTC とセルフケアの指導を行った。術直後は歯科衛生士の指導を受けた ICU 所属の看護師がスポンジブラシを用いた口腔清掃などを行った。また歯科衛生士の勤務時には専門的な口腔ケアを行ったが、患者自身でケアが可能な場合はセルフケアも行った。この結果、口腔ケア実施群の気管内細菌検査による検出細菌数および検出菌種は非実施群に比べて統計的に有意に少なく、口腔ケアの実施は気管内細菌の減少に一定の効果があると考えられた。

このほか、食道癌患者に対する口腔ケアの効果については、上野 (2003) 5) による看護師が行った術後患者への口腔ケアが細菌数減少効果をもたらしたとする報告、越野ら (2009) 6) による食道癌でがん化学療法を受けている入院患者に対して行った口腔ケアが口内炎を有意に減少させるには至らなかったもののプラークスコアを有意に減少させたという報告がある。

▽複数のがん

以上の述べた内容は、ある特定のがんに対する口腔ケアの有効性を検討したものであるが、以下に述べる大西ら（2005）8）の報告は、病院経営の面から口腔ケアがもたらす平均在院日数の削減効果などについて、幅広い症例に対して効果を検討したものである。この報告では、大阪府の市立池田病院における手術症例のうち術後の抗がん剤による化学療法などの追加療法を行っていない症例として胃がん（幽門側切除）、大腸がん、前立腺がん（恥骨後式全摘）、開腹胆石摘出を受けた患者を口腔ケアの開始前（2001年10月～2002年1月）と開始後（2002年1～7月）についてそれぞれ14～21名を対象として、比較した。その結果は図3に示すように、胃がん、大腸がん、前立腺がんの手術を受けた患者グループ（実施群）では術後在院日数の減少が認められ統計的に有意であり、術後在院日数は術前の口腔状態が不良なほど長い傾向にあることが認められた。また、本報告では手術後の熱発に関する分析も行われており、口腔ケア実施群では術後2日目以降の熱発症例が少なく、手術を受けた患者全体に対して熱発抑制効果があったことも認められている。



●考察

がん患者への口腔ケアの有効性を検討した報告について、対象となるがんの種類別に代表的な国内文献を紹介した。

ここで各調査報告の評価指標をみると、比較的効果があがっていると思われるのは感染の予防に関する項目と思われる。このようにがん患者に口腔ケアをシステムティックに施行することは、単に口腔の局所的な管理という面だけでなく全身管理の面からみて非常に重要とみることができる。ここで重要なことは、このような管理が一般の歯科診療所と病院との連携（病診連携）においても達成できたことが山崎らの報告²⁾で示された点である。この方式の普及を図るためには、行政がシステムづくりの一翼を担っていく必要があると思われる。

一方、がん治療法の副作用として時に深刻な問題が生じる口内炎については、十分な効果があがったとする報告は少ないようである。現場での対応も現状では対症療法が中心のようであり⁹⁾、今後の課題と思われる。

●文献

- 1) 大田洋二郎. 口腔ケア介入は頭頸部進行がんにおける再建手術の術後合併症率を減少させる 静岡県立静岡がんセンターにおける挑戦. 歯界展望 2005; 106(4): 766-772.
- 2) 山崎宗治, 松浦一登, 加藤健吾, 浅田行紀, 西條茂. 口腔ケアと再建手術術後合併症の検討. 頭頸部外科 2009; 19(2): 105-110.
- 3) 舘村卓, 野原幹司, 藤田義典, 青木越子, 藤本春美, 辻仲利政, 安井洋子, 熊代千鶴恵, 金光由起子. 食道癌チームアプローチにおける口腔ケアの意義. 歯界展望 2000; 95: 906-912.
- 4) 上嶋伸知, 坂井謙介, 長縄弥生, 波戸岡俊三, 長谷川泰久, 上田実, 篠田雅幸. 食道癌手術患者に対する専門的口腔ケア施行の効果. 日本外科感染症学会雑誌 2009; 6(3): 183-188.
- 5) 上野通代. 食道がん術後患者の口腔ケアによる細菌学的変化. 成人病 2003; 43(1): 15-16.
- 6) 越野美紀, 坂井千恵, 小倉孝文, 河崎晃子, 福里富美子, 宮崎安弘. がん化学療法時の口腔ケアによる口内炎予防効果 2009; 癌と化学療法; 36(3): 447-451.
- 7) 志水大地, 加藤洋史, 角田賀子, 越川久美子, 川又均, 今井裕. 口腔癌患者において術前口腔ケアは術後抗生物質の使用期間と入院期間を短縮できる. 栃木県歯科医学会誌 2008; 60: 9-15.
- 8) 大西徹郎, 島末喜美子. 周術期における口腔ケアの有用性についての検討. 看護技術 2005; 51(14): 70-73.
- 9) 大田洋二郎. がん患者を支える口腔ケアと歯科治療. The Quintessence 2009; 28(4): 146-157.

がん医療連携拠点病院対象「医科・歯科」連携に関するアンケート

医療機関名

記載者名

所属

職種 医師 看護師 MSW 事務職 その他

- 1) がん種別地域連携クリティカルパスが運用されていますか？
 - ①胃がん（されている されていない（作成中 作成予定 作成予定なし））
 - ②肺がん（されている されていない（作成中 作成予定 作成予定なし））
 - ③大腸がん（されている されていない（作成中 作成予定 作成予定なし））
 - ④乳がん（されている されていない（作成中 作成予定 作成予定なし））
 - ⑤子宮がん（されている されていない（作成中 作成予定 作成予定なし））
- 2) がん種別地域連携クリティカルパスに口腔領域の事項が記載されていますか？
 - ①胃がん（されている されていない（作成予定 作成中 作成予定なし））
 - ②肺がん（されている されていない（作成予定 作成中 作成予定なし））
 - ③大腸がん（されている されていない（作成予定 作成中 作成予定なし））
 - ④乳がん（されている されていない（作成予定 作成中 作成予定なし））
 - ⑤子宮がん（されている されていない（作成予定 作成中 作成予定なし））
- 3) 病院内に歯科（歯科口腔外科）が設置されていますか？
 1. 設置している
 2. 設置していない
- 4) がん治療において、病院内・外の歯科と連携されていますか？
 1. 必ず連携をとっている
 2. 必要に応じて連携をとっている
 3. 連携をとった事例はあるが、稀である
 4. 連携はとれていない
- 5) がん治療において、口腔領域に関連して、配慮されていることは？（複数回答可）
 1. 抗がん剤療法中の口内炎
 2. 感染防止のための口腔ケア（術前・術後）
 3. 頭頸部への放射線照射後のう蝕の多発
 4. 緩和ケア中のQOL維持のための口腔ケア
- 6) がん患者の口腔診査について
 1. 必ず歯科専門職に依頼している
 2. 必要に応じて歯科専門職に依頼している
 3. 歯科専門職に依頼していない

1. 歯科医師
2. 歯科衛生士
3. 看護師
4. その他 ()

1. これまで通り、連携を密にしていく
2. これから連携を密にしていきたい
3. 必要に応じて、連携していきたい
4. 連携の必要性をあまり感じない
5. その他 ()

9) がん診療以外で医科・歯科連携の事例があればご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございます。

問い合わせ 及び 回答先
滋賀県健康福祉部健康対策課
健康づくり支援室 井下 英二
電話 077-528-3616 FAX 077-528-4857
E-mail : inoshita-eiji@pref.shiga.lg.jp

がん医療連携拠点病院対象歯科連携状況アンケート調査

がん/口運状況			がん/口運領域症種の有無																			
施設番号	所属	記載者の職種 医師 歯科医師 MSW その他	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮がん		胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮がん	
			予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中	予定なし	作成中
1	医療相談支援室	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	臨床研修センター	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	がん相談支援情報室		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	医事課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	事務局管財課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6			1		1																	
7		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	病院事務部管理課会計担当課長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	看護部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	副院長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	事務部企画課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13	医務課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	経営課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
15	歯科口腔外科	1																				
16	歯科口腔外科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
17	看護部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
18	歯科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	乳腺内分泌外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20	副院長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
21	口腔外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
22	地域医療連携室	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
23	地域医療連携室	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
24	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
25	経営管理部医事課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
26	知事長・がん対策推進センター長、リハビリセンター長、歯科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
27	事務局業務部		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
28	診療支援課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
29	がん診療支援室	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
30	病院長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
31			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
32	診療部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
33	よろず相談センター・地域連携部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
34	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
35		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
36	がん相談員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
37	医事課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
38	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
39	医事課係長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
40	総務課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
41	がん対策推進企画課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

愛知県内のがん拠点病院で統一/口作成中のため不明

病院番号	所属	口 腔 外 科 の 設 置	口 腔 外 科 の 運 携	口 腔 病 の 症 例				口 腔 ア 当 者				こ れ か ら の 運 携 歯 科	運 携 事 例
				口 腔 内 外 科	口 腔 外 科	口 腔 病 の 症 例	口 腔 病 の 症 例	口 腔 病 の 症 例	口 腔 病 の 症 例	口 腔 病 の 症 例	口 腔 病 の 症 例		
1	医務相談支援室	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	がん患者の口腔ケアは治療期でも終末期にも非常に重要です。他院との連携がとれればさらに充実していきたいです。
2	臨床研修センター	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
3	がん相談支援情報室	2	2	1	1	1	1	3	1	1	1	3	
4	医事課	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
5	事務局管財課	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	
6		1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	主に放射線、化学療法治療中の患者様。また、ターミナルケア患者を対象に行っている。また、脳外科、救急患者にてペグと上の患者の口腔ケアを行っている
7		2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
8	病院事務部管理課会計担当課長	2	3	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
9	看護部	2	2	1	1	1	1	3	1	1	1	3	
10	副院長	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
11	事務局企画課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
12		2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
13	医務課	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
14	経営課	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
15	歯科口腔外科	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	ビスフォスフォネート投与予定患者および留置導管予定患者の口腔内スクリーニングと口腔ケア
16	歯科口腔外科	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	嚥下障害患者（嚥下入院）バスに入っている。入院患者の一般的口腔ケアに参加。手術（心臓大動脈手術）のための口腔ケア
17	看護部	2	3	1	1	1	1	2	1	1	1	2	
18	歯科	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
19	乳腺内分泌外科	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	ビスフォスフォネートとONU
20	副院長	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
21	口腔外科	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	DM
22	地域医療連携室	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	乳がんのリンパ浮腫の連携にプロ-を作り連携中（自科との連携ではない）
23	地域医療連携室	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
24	外科	1	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	
25	経営管理部医事課	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
26	経営管理部医事課	1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	2	摂食嚥下障害患者に対するチームアプローチ（リハビリテーション科）、血液透析患者（移植、化学療法等）への介入（血液内科、小児科）、腎臓患者に対する介入（VAP予防等）（ICU等）、院内の口腔ケアの整備（NST）
27	事務局業務課	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
28	診療支援課	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	
29	がん診療支援室	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
30	病院長	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1	3	なし
31		1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	
32	診療部	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	
33	よろず相談センター地域連携部門	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	
34													

施設番号	施設名	がん/バ運用状況										がん/バ口産婦人科記載の有無									
		がん/バ					乳がん					子宮がん					胃がん				
		医師	MSW	その他	その他	その他	医師	乳がん	子宮がん	胃がん	乳がん	子宮がん	胃がん	乳がん	子宮がん	胃がん	乳がん	子宮がん	胃がん	乳がん	子宮がん
42	がん医療連携拠点病院事務局			1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	現在作成段階のため内容については未定です				
43	看護局	1					放射線治療地域連携/バは運用している														
44	がんセンター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
45	診療部	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
46	地域支援センター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
47	地域医療連携室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
48	がん相談支援センター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
49	がん相談支援センター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
50	がん診療支援部	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
51	泌尿器科	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
52	事務局経営管理課	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
53	医事課医療支援地域医療連携係	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
54	地域医療連携室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
55	医事課	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
56	地域医療連携室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
57	地域医療連携室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
58	がんセンター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
59	地域医療センター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
60	医事課管理経営企画係	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
61	医事課管理	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
62	地域医療連携室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
63	がんセンター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
64	地域連携室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
65	腫瘍センター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
66	地域医療連携課	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
67	診療情報管理室(がん部会事務局)	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
68	臨床腫瘍部	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
69		1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
70	総務課総務チーム	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
71	医事課	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
72	医療連携情報室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
73		1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
74	臨床腫瘍科	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
75	消化器外科	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
76	診療部	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
77	がんセンター	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
78	事務局総務課	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
79	医事情報課	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
80	がん相談支援室	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
81	薬剤科	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
82		1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

病院番号	所属	口腔外科の設置	非常勤	歯科との連携	口腔領域の配置			口腔ケア担当者				これからとの連携	連携事例
					口内炎	感染防止	う蝕の多発	口腔ケア	口腔検査	歯科医師	歯科衛生士	その他	
42	がん医療連携拠点病院事務局	2		4	1	1	1	1	3		1	1	必要に応じて近隣の歯科医院へ往診等の依頼を行っています。また、患者の症状によっては北大病院歯科への依頼を行っています。
43	看護局	1		2	1	1	1	1	1	1	1	ST	3
44	がんセンター	1		3	1	1	1	1	1	1	1	1	2
45	診療部	2		4	1	1	1	1	1	1	1	1	3
46	地域支援センター	2		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
47	地域医療連携室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
48	がん相談支援センター	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
49	がん相談支援センター	2		2	1	1	1	1	1	1	1	本人	3
50	がん診療支援部	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
51	泌尿器科	2		2	1	1	1	1	1	1	1	1	3
52	事務局経営管理課	1		3	1	1	1	1	1	1	1	1	3
53	医療連携支援室地域医療連携係	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
54	地域医療連携室	2		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
55	医事課	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
56	地域医療連携室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
57	地域医療連携室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
58	がんセンター	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
59	地域医療センター	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
60	医療経営管理課企画係	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
61	医事課	2		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
62	地域医療連携室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
63	がんセンター	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
64	地域連携室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
65	腫瘍センター	1		1	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
66	地域医療連携係	1		4	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
67	診療情報管理室(がん部会事務局)	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
68	臨床研修部	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
69		2		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
70	総務課総務チーム	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
71	医事課	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
72	医療連携情報室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
73		2		3	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
74	臨床腫瘍科	1		3	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
75	消化器外科	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
76	診療部	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
77	がんセンター	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
78	事務局総務課	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
79	医事情報課	2		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
80	がん相談支援室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
81	薬剤科	1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3
82		1		2	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて頭頸部腫瘍カンファレンスを行う	3

病院番号	所属	記載者の職種	がんバス運用状況												がんバス口腔領域記載の有無																	
			胃がん			肺がん			大腸がん			乳がん			子宮がん			胃がん			肺がん			大腸がん			乳がん			子宮がん		
			されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし
		医師	看護士	事務	その他																											
83	歯科口腔外科	1																														
84	事務局																															
85	呼吸器科部長	1																														
86	医療連携室・相談支援センター	1																														
87	外科	1																														
88	管理部庶務課																															
89	医事第一課																															
90	庶務課企画調整係																															
91	がん治療センター	1																														
92	緩和医療科長	1																														
93																																
94	外科	1																														
95	外来緩和ケア担当	1																														
96	医務課																															
97	地域医療連携室	1																														
98	歯科	1																														
99	地域医療連携室	1																														
100	がん診療センター																															
101	歯科口腔外科	1																														
102	副院長外科部長	1																														
103	医事運営課																															
104	医療相談室	1																														
105	診療部長																															
106	医療連携課																															
107	看護部	1																														
108	がん拠点病院事務局																															
109	腫瘍内科	1																														
110	総務課庶務係																															
111	外科	1																														
112	がん治療対策推進室	1																														
113	呼吸器科																															
114	医療サード課	1																														
115	医療管理課総務係	1																														
116	内科	1																														
117	企画課																															
118	歯科口腔外科	1																														
119	歯科口腔外科	1																														

病院番号	所属	記載者の職種	がんバス運用状況												がんバス路線記載の有無											
			胃がん			子宮がん			乳がん			肺がん			胃がん			子宮がん			乳がん			肺がん		
			予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい	予定なし	作成中	されてい
120	院長	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
121	地域医療推進課	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
122	病理部	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
123	がん委員会	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
124	外科病棟	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
125	外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
126	地域医療連携室	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
127	診療情報管理室	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
128	歯科口腔外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
129	がん医療推進センター長	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
130	総合診療部	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
131	総務課	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
132	ふれあい地域医療センター	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
133	総務・企画課総務担当	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
134	がんセンター	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
135	歯科口腔外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
136	歯科口腔外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
137	事務部総務課総務第二係	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
138		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
139	医学部総務課総務係	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
140	腫瘍センターセンター長	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
141		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
142	歯科口腔外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
143	病歴管理課(がん登録)	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
144	外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
145	第一外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
146	庶務課	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
147	医事部門	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
148	外科地域医療連携室顧問	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
149	腫瘍内科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
150	がん相談支援室	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
151	医療支援情報室	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
152	歯科口腔外科	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
153	経営企画課	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
154	総務課	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
155	診療部	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
156	地域医療サービス室	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
157	地域連携支援センター	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
158	総務課	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
159	がん診療センター	1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1

作成予定の詳細はまだ不明

平成24年4月からの施行に向けて県内統一で現在整備中

病院番号	所属	口腔外科の設置	歯科との連携	口腔領域の配置			口腔ケア担当者				これからとの連携	連携事例
			非常勤	口腔内炎	感染防止	うき歯の発見	口腔検査	歯科医師	歯科衛生士	看護員	その他	
120	副院長	1		1	1	1	2	1	1		3	
121	地域医療推進課	1		1	1		2	1	1		1	
122	総務部総務課	1		1	1		2	1	1		3	全身麻酔患者における口腔内ケアと歯科矯正脱落防止のためのスプリント作成
123	がん委員会	2		1	1	1	3	1	1		3	
124	外科病棟	2		1	1	1	2	1	1		3	
125	外科	2		1	1	1	2	1	1		1,3	
126	地域医療連携室	2		1	1	1	2	1	1		2	
127	診療情報管理室	2		1	1	1	2	1	1		2	
128	歯科口腔外科	1		1	1	1	2	1	1	1	ST	NST活動、脳虚性肺炎対策、HIV/AIDS治療、白血病の治療前口腔内精密検査、睡眠時無呼吸症候群の治療、救急病棟の口腔ケア
129	がん医療推進センター長	1		1	1	1	2	1	1		1	
130	総合診療感染症科	1		1	1	1	1	1	1		1	
131	総務課	2		1	1		1	1	1		3	
132	ふれあい地域医療センター	1		1	1	1	2	1	3		2	
133	総務・企画課総務担当	1		1	1	1	2	1	1		2	
134	がんセンター	1		1			2	1	1		1	ビスフォスフォネート製剤投与中の歯科処置、歯肉出血の処置、歯肉腫瘍患者の治療における小児科、小児外科、小児科口腔外科のチーム医療、口腔内の外傷、抗凝固剤投与患者、循環器内科などで治療中の患者の歯科治療、嚥下摂食訓練は歯科口腔外科で実施、入院中の患者の歯科治療。
135	歯科口腔外科	1		1	1	1	2	1	1		1	ビスフォスフォネート(特にノメタ)投与前後の口腔チェック、心臓手術の術前口腔内検査、糖尿病療養入院の際に口腔内検査
136	歯科口腔外科	1		1	1	1	2	1	1		1	
137	手術部総務課総務第二係	1		1	1		2		1		3	
138		2		1	1	1	2	1	1	1	NSTチーム	
139	医学部総務課総務係	1		1	1	1	2	1	1		2	ビスフォスフォネート製剤の口腔検査、化学療法前の口腔検査、シェーグレン症候群症例における口腔検査・唾液腺の機能評価、病理診断(唾液腺の)、糖尿病と歯周病の検査
140	腫瘍センターセンター長	1		1	1	1	2	1	1		1	口腔ケア(脳外科、心臓外科、呼吸器疾患、心疾患、糖尿病、外科、婦人科)協同診療(耳鼻咽喉科、形成外科、整形外科、消化器内科)
141		1		1	1	1	1	1	1		2	①整形外科・脳外科・人工関節置換術前の口腔検査、口腔ケア②心臓血管外科の術前口腔検査、口腔ケア
142	歯科口腔外科	1		1	1	1	2	1	1		1	
143	病歴管理課(がん登録)	1		1	1	1	2	1	1		3	血管内科の骨髄幹細胞移植前の口腔検査
144	外科	2		1	1	1	2	1	1		3	ただし、白血病、骨髄移植(造血幹細胞移植等)の患者様については全例歯科医師の往診をしてもらい連携をとっている
145	第一外科	2		1	1	1	2	1	1		3	歯科治療に関しては必要に応じて関係されている歯科医師に往診をお願いしている
146	産科	2		1	1	1	2	1	1		3	
147	医事部門	1		1	1	1	3	1	1		3	
148	外科地域医療連携推進顧問	2		1	1	1	3	1	1		3	
149	腫瘍内科	1		1	1	1	2	1	1		3	
150	がん相談支援室	1		1	1	1	2	1	1		2	歯科も多忙なため、何かあれば依頼し定期フォローしてもらおうが十分ではない、特に連携が密なのはノメタ投与前フォロー
151	医療支援情報室	2		1	1	1	2	1	1		1	
152	歯科口腔外科	1		1	1	1	2	1	1		1	
153	経営企画課	2		1	1	1	2	1	1		2	
154	総務課	1		1	1	1	2	1	1		1	
155	診療部	2		1	1	1	1	1	1		1	歯科口腔外科が閉鎖してからは歯科衛生士が口腔ケア可属となり口腔内に問題があった際に歯科医師に依頼し病院へ往診に寄っていたようなシステムとなっています。
156	地域医療サードセンター	1		1	1	1	2	1	1		3	
157	地域連携支援センター	2		1	1	1	2	1	1		1	
158	総務課	1		1	1	1	2	1	1		2	
159	がん診療センター	1		1	1	1	2	1	1	1	ST	より一層連携を密にしてい

がん/口腔癌転移の有無			がん/口腔癌状況												がん/口腔癌転移の有無																	
病歴番号	所属	記載者の職種	胃がん			肺がん			大腸がん			乳がん			子宮がん			胃がん			肺がん			大腸がん			乳がん			子宮がん		
			されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし	されて いる	作成中	予定なし
160	外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
161	腫瘍内科	1																														
162	がん相談支援室	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
163	口腔外科	1																														
164	がん診療推進センター	1																														
165	総務課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
166	医事課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
167	総務課	1																														
168	緩和ケアチーム・総合診療科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
169	外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
170	総務課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
171	歯科口腔外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
172	医事課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
173	外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
174	事務部企画調査課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
175		1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
176	副院長	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
177	地域医療部外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
178		1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
179	医事グループ	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
180	歯科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
181	第2口腔外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
182	総務課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
183	歯科口腔外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
184	副院長	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
185	歯科口腔外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
186	FC病棟	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
187	地域医療連携係	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
188	歯顎口腔外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
189	院長	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
190	診療技術部リハビリテーション科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
191	外科・歯科口腔外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
192	薬病管理センター	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
193	看護部医療連携センター	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
194	外科	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
195	総務課	1	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		

病院番号	所属	口腔外科の設置	歯科との連携	口腔領域の配置	口腔ケア担当者	これからの連携	連携事例
		非常勤	口内炎	感染防止	う蝕の多発	口腔検査	
						歯科医師	その他
160	外科	1	2	1	1	2	2
161	腫瘍内科	2	2	1	1	2	2
162	がん相談支援室	1	1	1	1	2	3
163	口腔外科	1	2	1	1	2	1
164	がん診療推進センター	1	2	1	1	1	1
165	総務課	2	2	1	1	3	3
166	医事課	1	2	1	1	2	3
167	総務課	1	2	1	1	1	2
168	緩和ケアチーム・総合診療科	1	2	1	1	2	1
169	外科	1	4	1	1	3	3
170	総務課	1	1	1	1	2	1
171	歯科口腔外科	1	3	1	1	2	3
172	医事課	1	2	1	1	2	3
173	外科	1	2	1	1	1	2
174	事務部企画調査課	1	3	1	1	2	2
175		1	2	1	1	2	4
176	副院長	1	2	1	1	2	2
177	地域医療部外科	1	4	1	1	3	3
178		1	2	1	1	1	1
179	医事グループ	2	2	1	1	2	2
180	歯科	1	2	1	1	2	1
181	第2口腔外科	1	2	1	1	1	3
182	総務課	1	2			2	5
183	歯科口腔外科	1	2	1	1	2	3
184	副院長	1	2	1	1	1	1
185	歯科口腔外科	1	2	1	1	2	1
186	FG病棟	1	2	1	1	2	2
187	地域医療連携係	1	2	1	1	2	1
188	歯科口腔外科	1	2	1	1	2	1
189	院長	1	2	1	1	1	1
190	診療技術部リハビリテーション科	1	2	1	1	2	2
191	外科・歯科口腔外科	1	2	1	1	2	1
192	医療管理センター	1	2	1	1	2	1
193	看護部医療連携センター	1	2	1	1	2	1
194	外科	1	2	1	1	2	1
195	総務課	1	2	1	1	2	3

			がん/口腔腫瘍状況												がん/口腔腫瘍記載の有無															
病院番号	所属	記載者の職種	胃がん				肺がん				子宮がん				大腸がん				乳がん				大腸がん				子宮がん			
			未 記載	作 成 中	作 成 済	未 定	未 記載	作 成 中	作 成 済	未 定	未 記載	作 成 中	作 成 済	未 定	未 記載	作 成 中	作 成 済	未 定	未 記載	作 成 中	作 成 済	未 定	未 記載	作 成 中	作 成 済	未 定	未 記載	作 成 中	作 成 済	
196	経営管理課		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
197	医療連携室		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
198	地域医療連携課		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
199	医療社会相談室	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
200	企画課		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
201	歯科口腔外科	1	未 記載																											
202	医療社会事業部		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
203	歯科口腔外科		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
204	相談支援センタ-		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
205	新橋診療部	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
206	病院事務部病院課		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
207	医事課		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
208	事務室庶務係		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
209	診療情報管理室		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
210	事務局病院課	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
211	管理課		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
212	地域医療連携部がん診療相談支援係	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
213	がん総合センタ-		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
214	岐阜県総合医療センタ-	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
215	外科	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
216	歯科口腔外科、地域医療連携室	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
217	総務課企画・評価係		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
218	放射線科	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
219	診療情報管理室	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
220	がん相談センタ-	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
221	外科	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
222	化学療法部	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
223	相談支援室	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
224	がん相談支援室	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
225	地域医療連携相談室		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
226	〇〇内科	1	未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
227	がん集学治療センタ-		未 記載	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

病院番号	所属	口腔外科の設置		歯科との連携	口腔領域の配慮				口腔ケア担当者				これからの連携歯科	連携事例
		口腔外科	非常勤		口内皮	感染防止	う蝕の多発	緩和ケア	口腔診療室	歯科医師	歯科衛生士	その他		
196	経営管理課	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	・血液科、化学療法前、心臓外科手術前・耳鼻咽喉科、近接領域などで症例を紹介している。形成外科：唇顎口蓋裂の協同診療、口腔がん手術での再建（マイクロスージャ）の依頼、緩和ケア入院患者の口腔ケア・NSTチームでの連携、ICUでの口腔ケア・抗凝固剤、抗血栓薬投与患者の口腔外科・歯科病と歯周病、口腔癌との相互関係
197	医療連携室	2		1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2
198	地域医療連携課	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	これから更に連携を図りたい。ステロイド投与患者に対するう蝕、歯槽膿腫の診療
199	医療社会相談室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	高い将来歯科をがんばすにしたい。誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんにVF検査を実施し、経口摂取の昇高をしている。（食事の内容、嚥下訓練）
200	企画課	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2
201	歯科口腔外科	2		2	1	1	1	1	1				2	2
202	医療社会事業部	2							2	1			5	2
203	歯科口腔外科	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2
204	相談支援センター	1		2	1				2	1	1	1	2	2
205	統括診療部	2		2	1	1	1	1	2	1	1	1		
206	病院事務部病院課	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
207	医事課	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
208	事務室庶務係	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
209	診療情報管理室	2		2	1				3	1	1	1	3	3
210	事務局病院課	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	3
211	管理課	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
212	地域医療連携室がん診療相談支援係	2		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2
213	がん発センター	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
214	岐阜県総合医療センター	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
215	外科	1		2	1				1	1	1	1	1	1
216	歯科口腔外科、地域医療連携室	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
217	総務課企画・評価係	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
218	放射線科	2		3	1	1	1	1	2	1	1	1	3	3
219	診療情報管理室	1		2	1				2	1	1	1	1	1
220	がん相談センター	2		4	1	1	1	1	3	1	1	1	2	2
221	外科	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	3
222	化学療法部	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
223	相談支援室	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
224	がん相談支援室	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2
225	地域医療連携相談室	2		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
226	〇〇内科	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
227	がん集学治療センター	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	3

当院は救命救急センターを有しており、外科における口腔外科との連携は十分にとれている。また入院中の患者にける口腔ケアについても口腔科との連携のもとで取り組んでいる。

地域がん診療連携拠点病院へのアンケートで記載された歯科・医科連携事例

- がん患者の口腔ケアは治療期でも終末期にも非常に大事だと思います。他院との連携がとればさらに充実していきたいです。
- 主に放射線、化学療法治療中の患者様、また、ターミナルケア患者を対象に行っている。また、脳外科、救急患者にてベッド上の患者の口腔ケアを行っている。
- ビスフォスフォネート投与予定患者および腎移植予定患者の口腔内スクリーニングと口腔ケア。
- 糖尿病患者（教育入院）パスに入っている。入院患者の一般的口腔ケアに参加。手術（心内膜炎予防）のための口腔ケア。
- ビスフォスフォネートと ONJ
- DM
- 乳がんのリンパ浮腫の連携にフローを作り実施中（歯科との連携ではない）。
- 摂食嚥下障害患者に対するチームアプローチ（リハビリテーション科）、血液疾患の患者（移植、化学療法等）への介入（血液内科、小児科）、挿管患者に対する介入（VAP 予防等）（ICU 等）、院内の口腔ケアの整備（NST）。
- 必要に応じて近隣の歯科医院へ往診等の依頼を行っています、また、患者の症状によっては北大病院歯科への依頼を行っています。
- 訪問診療を前向きにしていただける歯科がありますので適時病院又は在宅への訪問診療やケアの指導をお願いしています。
- 宛名が不明確であるため、地域医療機関（歯科）との医療機能連携担当部署に配架されてしまい、転送が可能ではなくなった。大学病院は 10,000 人以上の人間が勤務しているため宛名が不明確であればご所望の部署には届かず、異なる担当のものが回答を作成せざるを得ないこととなる。宛名は「歯科口腔外科腫瘍診療担当」とされるのがよい。
- がん診療だけでなく看護の基本として歯科と連携し口腔ケアについて研修企画実施している。
- 胸部外科術前の患者についてう歯チェック・治療・及び口腔ケアを実施している。
- 脳卒中患者での口腔ケア、誤嚥性患者の退院後口腔ケア連携（今後予定）。
- 心疾患、ICU, CCU 等においては院内の連携が必ずとれる用に委員会やリンクナース等が主体となり取り組まれています。院内リンクナース認定制度教育を通して啓発されている。脳高次機能障害においても必ず口腔ケア外来等でフォローしている様です。
- 病院として一般的なことを書かせていただきました。各科で治療方針や考え方が異なりますのですべてがアンケートにお答えした内容と一致するとは限りませんので予めご了承ください。
- NST グループの一員として口腔内マッサージや必要事項の指導を積極的に行っています。
- 食道がん術前の口腔ケア。

- 寝たきりの患者様や自力で口腔ケアがなかなかできない人（患者様）の為に口腔ケアを行っている。
- NST チームを中心に地域の歯科医師会の協力を得て合同で病棟回診を行い、口腔ケア歯科治療嚥下訓練等を行っています。
- 嚥下困難な患者に対してケアしている。
- 脳血管疾患で寝たきり在宅患者への口腔ケア、施設利用者における口腔ケア。
- 横断的診療班として口腔ケアサポートがあり、病院内で主に人工呼吸器装着患者の積極的な口腔ケアを行っている。
- 院内の NST 委員会で行っている院内ラウンドの際に地域の歯科医院の先生に月 2 回参加していただき口腔指導を行っている。
- 現場勤務ではないため希望となりますが、2 をめざししてほしいと思う。無ければ EST 時の事前の歯科受診、院外からの依頼・相談がある。
- がん患者以外にも口腔ケアを行っている。顎顔面補綴、各種プロテーゼの作成、栄養指導。
- 顔面外傷、下顎骨折、顎関節症など。
- 嚥下機能低下しているかんじゃについて嚥下リハビリを歯科専門病院に依頼したことがあります。
- 心疾患患者の心臓血管外科の術前口腔診査治療依頼口腔ケアの歯科への依頼。腎移植患者の術前、脳神経外科、神経内科入院中の患者、内科糖尿病患者、膠原病患者、腎不全患者への口腔診査、治療依頼。
- 必要に応じてすべてに配慮している、地域対象研修会の開催一当院医師が歯科医師対象の研修会で講演、当院歯科医師が地域の医師会で講演、摂食嚥下セミナーを当院口腔外科が地域歯科医院および内全職員を対象に年 2 回開催、日常的に医科・歯科間で診療依頼を行っている一院内での連携、当院登録医療機関との連携（医科 508 医療機関、歯科 241 医療機関）。
- 骨転移時のゾメタ（ビスフォスフォネート）使用に際し、歯科 Dr と連携。
- ゾメタについて別途連携が必要です。
- 青森県がん地域連携パス作成運用検討会においてこれら 5 つのがんのパスを作成、胃がんと肺がんのパスが完成し他圏域において試行中入院患者の義歯、う蝕の相談など。
- 脳梗塞の患者他。
- 大腿骨頸部骨折地域連携パス、脳卒中地域連携パスの運用。
- 経口摂取できない患者について歯科と連携をとっている。歯科と耳鼻科で連携をとり必要であれば耳鼻科で機能を訓練している。
- ①上顎洞炎の手術は歯科口腔外科で、篩骨洞炎の手術は耳鼻科で合同で手術する。②多発全身骨折で上下顎骨は歯科口腔外科で、他は整形外科で手術を行う。③顔面部の疼痛で原因不明の場合は麻酔科のペインクリニックで、原因がはっきりしたものは歯科口腔外科で④頬骨弓骨折は形成外科で、その他の上下顎骨折は歯科口腔外科で手術を行う。三叉神経痛は脳外科と連携をとっている。⑥骨髄移植時（内科）歯科口腔外科で上下顎の病巣の精査を行う。
- 全身麻酔患者における口腔内ケアと歯科破折脱落防止のためのスプリント作成。

- NST 活動、誤嚥性肺炎対策、HIV/AIDS 治療、白血病の治療前口腔内精査、睡眠時無呼吸症候群の治療、救急病棟の口腔ケア。
- ビスフォスホネート製剤投与中の歯科的観血的処置、唇顎裂口蓋裂患者の治療における小児科、小児外科、歯科口腔外科のチーム医療、口腔内の外傷、抗凝固剤投与患者、循環器内科などで治療中の患者の歯科治療、嚥下摂食訓練は歯科口腔外科で実施、入院中の患者の歯科治療。
- ビスフォスホネート（特にゾメタ）投与前後の口腔チェック、心臓手術の術前口腔内検査、糖尿病教育入院の際に口腔内検査。
- ビスフォスホネート薬剤の口腔精査、化学療法前の虚空診査、シェーグレン症候群症例における口腔診査・唾液腺の機能評価、病理診断（小唾液腺の）、糖尿病と歯周病の精査。
- 口腔ケア（脳外疾患、心外疾患、呼吸器疾患、心疾患、糖尿病、外科、婦人科）協同診療（耳鼻咽喉科、形成外科、整形外科、眼科、外科、消化器内科）。
- ①整形外科領域の人工関節置換術前の口腔検診、口腔ケア②心臓血管外科の術前口腔検診、口腔ケア。
- 血管内科の骨髄幹細胞移植前の口腔検診。
- ただし、白血病、骨髄移植（造血幹細胞移植等）の患者様については全例歯科医の往診をしてもらい連携をとっている。
- 歯科治療に関しては必要なときに開業されている歯科医師に往診をお願いしている。
- 歯科も多忙なため、何かあれば依頼し定期フォローしてもらおうが十分ではない。特に連携が密なのはゾメタ投与前フォロー。
- 歯科口腔外科が閉鎖してからは歯科衛生士が口腔ケア専属となり口腔内に問題があった歳に歯科医師会に依頼し病院へ往診にきていただくようなシステムとなっています。
- より一層連携を密にしていく。
- NST のメンバー、嚥下チームのメンバーとして常に診療と連携している。胃がん大腸がんは福井県がん診療連携協議会で（5 拠点病院）共通パスを作成することを決定し、現在検討中。
- 消化器外科は周術期パスで必ず術前術後行っているが他科は必要に応じて行っている。①PEGパスで術前術後 5 日間歯科衛生士、看護師の口腔ケアを実施②前入院患者に対して入院時に口腔ケアスクリーニングを病棟看護師が実施し、専門的に口腔ケアが必要な患者に対して歯科衛生士が訪問し、口腔ケア、病棟看護師指導、本院指導を実施している。継続して専門的口腔ケアが必要な患者さんは歯科衛生士に依頼してもらう。全入院患者に対して週 1 回の再評価を実施している。
- 県での取り組みも行われていることから連携も密になるとよい方向に進んでいくと考える。
- ICU, HCU や経口挿管 Pt の VAP 予防と早期からの摂食嚥下訓練・クリーンルームでの口内炎対策、嚥下訓練・心臓外科のオペまえから歯周治療、感染源の除去・白血病等の抗悪性腫瘍に対する化学療法での免疫低下するまえか

ら歯周治療、感染源除去、P t 指導・ビスフォスフォネート使用前の口腔内感染源治療。

- 歯科における口腔ケアに対する適切な保険点数の算定がなされなければ連携は進まないと思います。
 - ・ビスフォスフォネート使用前（中）の患者の口腔内管理・口腔、顎、顔面外傷患者の手術管理等・有病者の歯科口腔外科治療（糖尿病、透析患者、心疾患患者等）
- 心臓血管手術前の口腔スクリーニング、ビスフォスフォネート投与に関わる口腔管理・歯性上顎洞炎に関する耳鼻科歯科連携・唇顎口蓋裂に関する形成外科歯科連携。
- 移植内科外科においても口腔ケアは重要です。口腔ケアによって重篤な口内炎が有意に下げることが可能で、患者さんの苦痛を除くだけでなく、入院期間の短縮や医療費の抑制に有効です。
- 透析患者の歯科治療・心臓病、血管疾患の歯科治療・脳、血管疾患（脳梗塞等）の口腔ケア。
- 移植を受ける患者は口腔外科で口腔外科で治療を受ける（腎、骨髄移植）
- 脳卒中地域連携パスでは口腔ケア、嚥下評価について歯科との連携を進めている。
- ビスフォスフォネート使用前の口腔領域チェック
- 血液科、化学療法前・心臓外科手術前・耳鼻咽喉科：近接領域なので症例を紹介している・
- 形成外科：唇顎口蓋裂の協同診療、口腔がん手術での再建（マイクロサージェリー）の依頼・緩和ケア入院患者の口腔ケア・NSTチームでの連携・ICUでの口腔ケア・抗凝固剤、抗血栓薬投与患者の口腔外科・糖尿病と歯周病、口腔疾患との相互関係
- これから更に連携を密にしていきたい、ステロイド投与患者に対するう歯、歯槽膿漏の診療。
- 遠い将来歯科をがんパスに入れたい。誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんにVF検査を実施し、経口摂取の評価をしている。（食事の内容、嚥下訓練）
- 歯科分野の病診連携（地域の歯科クリニックより紹介入院・手術一退院後は元の歯科クリニックで診療継続）。
- 歯科口腔外科を現在開設準備中、本院でもがん治療において口腔ケアの必要性が認識されています。大学より異動し現在開設の準備中です。今後ともよろしくお願い申し上げます。本来各医師が記載すべきアンケートですが申し訳ありませんが小生がご返事させていただきました。
- 地域連携パス等作成がまだされておらず、どのような連携をとっていくかは未定である、在宅医との連携ががん患者以外でも存在する。
- 外科処置では医科と常に連携をとっています。
- NST の中で行っている。
- 脳血管障害患者の口腔外科。
- 白血病移植患者であれば必ず歯科受診、ゾメタ投与中でも歯科受診は必須としています。

- 口腔外科医がNSTの一員でもあり、摂食嚥下、がん治療に伴う口腔領域の問題に予防から関わりを持っている。
- 耳鼻科栄養治療部歯科医衛生士がチームを組み、摂食嚥下チームを設立し活動を開始した。外科、内科、栄養治療部、看護部、検査部、薬剤部、歯科がチームを組みNSTとして活動している。
- ビスフォスフォネート剤使用時の口腔内診査、弁置換術前の口腔内診査及び治療依頼。
- 歯学部付属病院口腔外科術前健診は医学部病院総合外来にて一括して行われている。
- 当院は救命救急センターを有しており、外傷における歯科との連携は十分にとれている。また入院中の患者にける口腔ケアについても歯科との連携のもとで取り組んでいる。